

市民リポーター  
小和田ゆかりさん

●こわだ ゆかり  
登別東町在住。  
室蘭市出身。現在、10歳  
と7歳の娘を育てる主婦。



▲『コロポックルの森』オープニングセレモニー

# 子どもたちの 歓声が 聞こえる

## 幼保一元化モデル事業

子どもたちの健やかな  
成長を願って

幼保一元化モデル事業は、子ども  
の年齢や入所基準、保育時間な  
どが異なる保育所と幼稚園の垣根  
を越え、就学前の子どもの保育・  
教育を一体的に行うものです。  
「愛称の『コロポックル』は、  
アイヌの伝説に出てくる小人の神  
コロポックルの森が、純粹な心を  
持った子どもたちの集い遊ぶ場所  
になってほしいとの思いや、子ど  
もたちにいつまでも夢や希望を持  
ち続けてほしいとの願いを込めて  
名付けました」と話すのは、コロ

昨年7月、登別本町に  
登別保育所と白雪幼稚園による  
幼保一元化総合施設  
『コロポックルの森』がオープン。  
道内で唯一、  
国のモデル事業に選ばれ、  
注目を集めています。  
幼保一元化モデル事業に  
携わっている方や  
保護者の方を訪ね、  
取り組みなどをレポートします。



木村 義恭さん

ポックルの森園長の木村義恭さん  
コロポックルの森では、渡り廊  
下で結ばれた登別保育所と白雪幼  
稚園の建物を一体的に活用した保  
育・教育が行われています。

また、この事業をスムーズに進  
めるため、市は、登別保育所の運  
営を、併設する白雪幼稚園（学校  
法人登別立正学園）に委託してい  
ます。

「保育所と幼稚園がひとつにな



市民リポートは、市民の皆さんが自由に発想・企画するページです。

れたらという思いは、10年以上前  
から持っていました。今回の幼保  
一元化モデル事業には、大きな期  
待とともに、携わる一人として責  
任の重さも感じています。初めて  
のことなので、マニュアルはあり  
ません。子どもの健やかな成長を  
願う気持ちは、きっと皆さん同じ  
はず。さまざまな方からの意見を  
お聞きし、試行錯誤を重ねながら  
子どもたちの保育・教育に取り組  
んでいきたいですね」  
木村さんに今後の目標を尋ねる  
と、「この登別地区では、保育所  
幼稚園から中学校まで、通う場所  
はみんな一緒。みんなで一人を励  
まし支え、一人の喜びをみんなで  
分かち合える、そのはじまりがコ  
ロポックルの森であってほしいと  
思います。今後は、町内会や小  
中学校など地域の皆さんとも連携  
しながら、地域の子どもは地域で  
育てるといふ土壌をつくっていか  
れたらうれしいですね」と話して  
くれました。